

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名	食生活改善推進員協議会支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 田中景子
	基本事業	43	病気になるらない生活習慣の確立	所属班	健康推進班	(内線) 2167
				法令根拠		

予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業連番 10357	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 12	コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成6 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
食を通じた健康づくりを推進している食生活改善推進員協議会(自主団体)を支援する事業  
【業務の流れ】  
食生活改善推進員協議会の事務局として、総会・役員会・推進員の学習会の支援や通知発送、推進員活動(教室時の手作りおやつ、骨粗しょう症予防料理教室、親子料理教室、各地区料理教室、祭りへ出店、男性料理教室等の開催)の支援、食生活改善推進員養成講座の実施  
【主な予算費目】  
需用費、役員費、委託料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 総会(4月)、役員会(9回)、推進員学習会(8回)、教室時の手作りおやつ(6回)、各種教室の開催等(25回)、祭りへ出店(1回)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度同様、総会(4月)、役員会、推進員学習会、教室時の手作りおやつ、各種教室の開催等、祭りへ出店を行う。
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 活動回数 回 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	食生活改善推進員協議会	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 推進員の数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	目的に沿った運営ができるよう支援する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 達成できた事業の割合 % → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	健全な生活習慣を身につける	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 栄養のバランスを考えて3度の食事を取っている市民の割合 % → イ 病気予防のためになんらかの運動をしている市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0          0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	366	300	437	391	417	417	
	(A) 事業費計	千円	366	300	437	391	417	417		
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	220	180	220	220	220	220		
	(B)人件費計	千円	873	716	876	876	876	876		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,239	1,016	1,313	1,267	1,293	1,293		
	活動指標	ア 回	51	50	50	62	50	50	50	
	対象指標	ア 人	42	42	58	47	58	58	58	
	成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	
	上位成果指標	ア %	86.1	89.7	86.4	86.8	86.7	87	87	
		イ %	42	43.4	46	39.9	48	50	50	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
旧西合志町住民からの声で、平成6年に町が支援して自主団体として立ち上がる。合併により、合志市全体に活動範囲を広げる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
合併により活動範囲を合志市全体に広げるため、平成18年度に食生活改善推進員養成講座を実施した。食生活改善推進員数が新たに増え、現在47名で活動している。平成21年度も養成講座を実施し、推進員を増やす予定。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
食生活改善推進員協議会主催の教室(男性料理教室、親子料理教室等)に参加された市民からは、「このような活動を広げて欲しい」「推進員の活動により食の大切さを感じた」など、良い意見をたくさん聞いている。

事務事業名	食生活改善推進員協議会支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ <b>意図の目的に沿った運営ができるよう支援することにより、結果の健全な生活習慣を身につけることに結びつく。</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ <b>食を通じた健康づくり活動により健康への意識を高めることができ、生活習慣病予防により医療費の削減につながるため妥当である。</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ <b>対象意図とも現状で適切である。</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ <b>推進員の活動が円滑にいくよう、推進員自身の意識や知識を高めるための学習会を実施していく。</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ <b>食を通じた健康づくり活動が低下することにより生活習慣病につながり、医療費が増加する。</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <b>他に類似した事業はない</b> <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>委託料の金額が適切であるか他団体や他市町村と比較をしていく必要がある。</b>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>自主団体であるため、推進員自身でもっとできることはないか検討していく必要がある。</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ <b>食生活改善推進員の養成講座を実施し、誰でも推進員になれる機会をつくらなければならない。</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性については、食生活改善推進員の活動が円滑にいくよう、推進員自身の意識や知識を高めるための学習会を実施していく。 ③ 効率性については、委託料の金額が適切であるか他団体や他市町村と比較をしていく必要がある。自主団体であるため、推進員自身でもっとできることはないか検討していく必要がある。 ④ 公平性については、食生活改善推進員の養成講座を実施し、誰でも推進員になれる機会をつくらなければならない

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 推進員の学習会や養成講座を実施し協議会活動を支援するとともに、自主団体として推進員自身でもっとできる事がないか見直していく必要がある。委託料についても検討していく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
委託料の金額が適性であるか、他団体や他市町村と比較していく必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )